

各 位

2023年8月2日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

日本のトンボがくらべてわかる！ わかって楽しい、見て楽しいトンボ図鑑『くらべてわかるトンボ』  
刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『くらべてわかるトンボ』（著：尾園 暁）を発売しました。



### 見開きページでくらべてわかりやすい写真図鑑

本書では、日本に生息する代表的なトンボ約 120 種を紹介。グループごとに、見開きページで似ている種を写真でくらべることができるので、違いがわかりやすいです。また、掲載種はすべてオスとメスの写真も紹介しているので、雌雄の違いもくらべてわかるようになっています。

### 自然の中のトンボの姿が収められた生態写真で紹介！

この図鑑では標本の写真ではなく、生態写真でくらべています。野外で見かけるトンボの姿に近い写真が載っているので、自分で撮影した写真からの同定にも便利です。詳細な形態の違いも、部位のアップと引き出し線を使って紹介しているので、初心者でもわかりやすいです。

### 見た目からの検索が充実

本書の巻頭には大きさと見た目から検索できるように、原寸大サイズのトンボの写真一覧のページを作りました。初心者の方であっても、このページを使うことで目的のトンボをある程度絞れるように

なっています。

### 黄色や赤のイトトンボの仲間

イトトンボ科の仲間には、鮮やかな黄色や赤を身にまとい、群れで飛ぶ姿がとても美しい。これは北緯30度の間にだけ見られるが、ここにはいろいろな種類が住んでいるので、順番に見ていこう。

#### キイトンボ

*Geogysis kuroshioensis*  
本州中部から北海道にかけて見られる。オスとメスの体色が異なる。オスは黄色、メスは赤。体長はオス約4.5cm、メス約3.5cm。



#### ベニイトンボ

*Geogysis japonica*  
本州中部から北海道にかけて見られる。オスとメスの体色が異なる。オスは赤、メスは黄。体長はオス約4.5cm、メス約3.5cm。



#### リュウキュウベニイトンボ

*Geogysis japonica*  
本州中部から北海道にかけて見られる。オスとメスの体色が異なる。オスは赤、メスは黄。体長はオス約4.5cm、メス約3.5cm。



### アカトンボの仲間①

代表的なものに水田で暮らすアキアカネとアキアカナがあるが、名前とは裏腹に見られる季節には違わない。腹部の模様や産卵の仕方でも見分けよう。アキアカネとアキアカナはよく似た外見の仲間が多い。順番に見ていこう。

#### アキアカネ

*Symphyla akikane*  
本州中部から北海道にかけて見られる。オスとメスの体色が異なる。オスは赤、メスは黄。体長はオス約4.5cm、メス約3.5cm。



#### ナツアカネ

*Symphyla natsukane*  
アキアカネとよく似た。腹部の模様や産卵の仕方でも見分けよう。アキアカネとよく似た外見の仲間が多い。順番に見ていこう。



#### タイリクアカネ

*Symphyla taikokukane*  
アキアカネとよく似た。腹部の模様や産卵の仕方でも見分けよう。アキアカネとよく似た外見の仲間が多い。順番に見ていこう。



### イトトンボ科



### カワトンボ科



## ■内容

本書の使い方／トンボのからだと名称／トンボの一生／トンボのすみ環境／トンボのグループを調べてみよう／大きさと見た目から検索（原寸大サイズ）

## くらべてわかるトンボ図鑑 均翅目

アオイトトンボ科、モノサシトンボ科、イトトンボ科、カワトンボ科

くらべてわかるトンボ図鑑 不均翅目①

ムカシトンボ科、ムカシヤンマ科、オニヤンマ科、ミナミヤンマ科、ヤンマ科、サナエ科、エゾトンボ科、ヤマトンボ科

くらべてわかるトンボ図鑑 不均翅目②

トンボ科

コラム

見分けにくいイトトンボ科のオスの部位比較／トンボを撮影してみよう① 準備編／トンボを撮影してみよう② 実践編／トンボの体色変化と色彩多型／オニヤンマと間違えられやすいトンボ／小笠原諸島のトンボたち／琉球列島の代表的なトンボ／北海道の代表的なトンボ／トンボの幼虫ヤゴ

### 【商品詳細】

書名：くらべてわかるトンボ

著者：尾園 暁

定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

発売日：2023 年 8 月 2 日

仕様：4C・B5 判

ページ数：120 ページ

<https://www.yamakei.co.jp/products/2823063590.html>

### 【著者情報】

尾園暁（おぞの あきら）

1976 年大阪府生まれ。昆虫写真家。近畿大学、琉球大学大学院で昆虫学を学び、昆虫写真家に。

自宅のある神奈川県を中心に、各地で昆虫たちの生態を追う。ライフワークはトンボの生態撮影。

日本写真家協会（JPS）、日本自然科学写真協会（SSP）、日本トンボ学会会員。著書に『ネイチャーガイド 日本のトンボ』『タマムシハンドブック』（ともに文一総合出版）など多数。

### 【くらべてわかる図鑑】

「くらべてわかる」シリーズは、似たもの同士をくらべる事で見分けをサポートする図鑑です。見開きに似ている種類を並べ、違いを引き出し線でわかりやすく解説。どこに注目すると見分けられるかが一目でわかります。現在、野鳥、淡水魚、きのこ、木の葉っぱ、哺乳類、昆虫、甲虫、シダ、カエル、貝殻、蛾、岩石、トンボの 13 冊が好評発売中です。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。

さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：手塚

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yama-kei.co.jp](mailto:info@yama-kei.co.jp)

<https://www.yama-kei.co.jp/>